

社会的インパクト評価
丸ごと研修

を通して、こんな悩みを整理しませんか

NPOと支援者が 共に学べる研修です

NPOの皆さん

- ☑ 「事業の成果はなに？」とよく聞かれるが、うまく説明ができない
- ☑ 何のための事業なのか、団体内でも共有しきれず、気持ちがまとまらない
- ☑ 活動を続けているが、その先に何があるのかが見えず、将来が少し不安

支援者 市民活動センター、中間支援NPO 行政のNPO担当課、プロボノの皆さん

- ☑ 休眠預金制度に備え、社会的インパクト評価の全体像や事例を知りたい
- ☑ NPOと、行政・企業・地域などとの協働をつなげるストーリーを探りたい
- ☑ NPOが事業を見直し改善する時に、何が壁になるのか、一緒に考えて支援したい

第1回・第4回/全体研修
第2回・第3回/名古屋会場

あいちNPO交流プラザ 会議コーナー

名古屋市中区上区上杉町1
ウィルあいち2階

【交通】地下鉄名城線「市役所」駅下車（2番出口）徒歩10分
名鉄河和線「東大手」駅下車 徒歩8分

第2回・第3回
半田会場

半田市市民交流センター ホール

半田市広小路町155-3
クラシティ3階

【交通】名鉄河和線知多半田駅より立
体歩道で直結

第2回・第3回
刈谷会場

刈谷市社会教育センター 301 研修室

刈谷市東陽町1-32-2
刈谷市民交流センター3階

【交通】JR東海道本線「刈谷」駅、
名鉄三河線「刈谷」駅・南出口から
徒歩8分

*会場までの交通費は自己負担となります。

お申込の方法

下記の申込欄にご記入いただきFAX・郵便でお送りいただくか、同様の内容をEメールにてご送付ください。

- 4回連続のご出席を原則としますが、ご都合がつかない場合は、その旨ご記入ください。
- 第2回・第3回は、同じ会場を受講がお勧めですが、別会場を受講していただくことも可能です。
- 第4回目は、支援者の方は、なるべく午前・午後を通してのご参加をご検討ください。

▼申込締切 7月20日（金）（4回通してのご予定をお書きください）
ただし、第2回以降の追加申込として、各研修の1週間前まで受け付けます。

お問合せ／お申込み NPO法人ボランティアネイバース 〒461-0005 名古屋市中区東区2-18-3,702
〔TEL〕052-979-6446（平日10時～18時）〔FAX〕052-979-6448〔Email〕vns@vns.or.jp

お名前				ご所属			
お電話	FAX		E-mail				
★下記の回について、ご出席予定のものに ○をつけてください。							
第1回 7/26	第2回	半田・名古屋・刈谷 8/21 8/27 8/25	第3回	半田・名古屋・刈谷 9/11 9/12 9/8	第4回 10/19	午前（支援者向け） 午後（NPO・支援者向け）	
連絡欄							

*ご記入いただいた個人情報は、当事業に係る事務以外には使用いたしません。

NPOと行政職員など支援者のみなさんへ！

参加無料

成果はチカラだ！

NPO活動が社会に与える成果を<見える化>して
活動の評価する「社会的インパクト評価」を行うことで
事業を改善し、外部の資源や協力を獲得していく！

そんな時代が、はじまります

基本から、活用方法まで
今を機会に身につけよう

社会的インパクト評価 丸ごと研修

説明が苦手なNPOでも
基本を学べばできるんです

事業の改善や協力よびかけの説明に
使えるシートができるんです

7/26
(木) 初回は基本の「き」から

社会的インパクト評価と NPO活動の発展

社会的インパクト評価の専門家で、NPOの
理事長も務める津富宏さんと日本財団の藤
田滋さんから、NPOが社会的インパクト評
価を行う意義を学びます。

研修(社会的インパクト評価)の効果

- いいね! 事業の価値がうまく伝わり、ボランティアや寄付者の理解が深まる
- なるほど 事業効果の根拠を示すことができ、助成申請や協働提案が評価される
- そだね~ 組織内の共通理解がしやすくなり活動意欲や運営力が高まる

主催：愛知県 企画・運営 NPO法人ボランティアネイバース

「成果って何？」からスタート

ロジックモデル・シートを作成！

「それをどう活用するか」まで

しっかり＆丸ごと学びます

1 社会的インパクト評価を知る

基調講演「社会的インパクト評価とNPO活動の発展」

なんのため
どんなものか
を知りたい

- 7/26 (木) 14:00~17:00
- あいちNPO交流プラザ/定員70名

講師：津富 宏氏

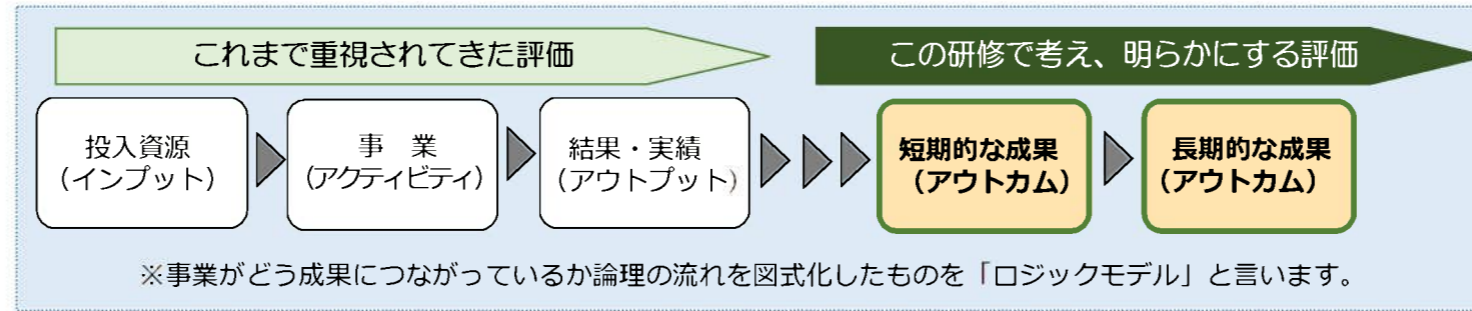
静岡県立大学教授、NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長
社会的インパクト評価イニシアチブガイドラインWGメンバー、休眠預金未来構想プラットフォーム評価分科会委員

講師：藤田 滋氏

日本財団経営企画部パートナー開発チーム
社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局

Points

- ・社会的インパクト評価が注目される背景
- ・評価の基本的枠組みと全体の流れ
- ・社会的インパクトが有益である／ない場面
- ・活かし方（資源獲得と組織基盤強化）など



2 成果を説明する「ロジックモデル」を学ぶ

- 8/21 (火) 13:00~17:00 半田会場 <就労支援>
- 8/25 (土) 13:00~17:00 刈谷会場 <まちづくり>
- 8/27 (月) 13:00~17:00 名古屋会場 <教育>
- 定員：各会場 20名

講師：鴨崎 貴泰氏

日本ファンドレイジング協会常務理事兼事務局長／社会的インパクトセンター長
GSG 社会的インパクト投資国内諮問委員会・評価ワーキンググループ

Points

- ・成果を説明するロジックモデルの全体像
- ・事例で学ぶロジックの流れ
- ・アウトカム（成果）を考える上での留意点
- ・相手に伝わるロジックとは

3 成果を確認する「指標としくみ」をつくる

- 9/8 (土) 13:30~16:30 刈谷会場 <まちづくり>
- 9/11 (火) 13:30~16:30 半田会場 <就労支援>
- 9/12 (水) 13:30~16:30 名古屋会場 <教育>
- 定員：各会場 20名

講師：鴨崎 貴泰氏

日本ファンドレイジング協会常務理事兼事務局長／社会的インパクトセンター長
GSG 社会的インパクト投資国内諮問委員会・評価ワーキンググループ

Points

- ・作成したロジックモデルの評価について
- ・評価の種類と、社会的インパクト評価の特徴
- ・事例で学ぶ評価活動の流れ
- ・評価の活用の仕方

4 現場での活用方法を想定した振り返り

- 10/19 (金) 10:00~12:30/13:30~16:00
- あいちNPO交流プラザ
- 定員：午前30名 午後50名

講師：永田 賢介氏

特例認定NPO法人アカツキ代表理事。現場に寄り添い、現場の分析・提案・実践を伴走するコンサルティングを展開中

午前：振り返り①：寄りそう（支援者向け）

<講師による基本講義→セッション>

- 社会的インパクト評価とNPO現場との間にどんなギャップがあるか、どんな課題を一緒に整理すればいいのか、第3回までに出てきた課題を元にしながら支援の仕方を話し合います。

午後：振り返り②：踏みだす

（NPO・支援者向け）

<講師による基本講義→インタビューセッション→ワーク>

- セミナーで学んだ「ロジックモデル」や「評価」を組織に持ち帰って活用する際に注意すべきことは何か。講師・支援者とのやりとりを通して、実践に踏みだすための準備をします。

社会的インパクト評価
の実践を、専門家が
個別サポート

社会的インパクト評価 を、わかりやすく研修

- 講師陣 全国的な第一人者でNPO現場の理解が深い先生です
- 進め方 グループワークや質疑応答で確認・補充しながら作成できます
- テキスト 事例を参考にしながら具体的に学べる内容になっています

- 第2回・第3回で使うテキストは、「教育」「就労支援」「まちづくり」の3種があります。事例等が異なりますが、学ぶ項目は同じです。どの分野のNPOでも問題なく学べます。



- 名古屋は「教育」
- 半田は「就労支援」
- 刈谷は「まちづくり」に関するテキストを活用します。

- 地域で、日程で、あるいは、自分の関心に近い分野で、ご都合のよいものを選択してご参加ください。

サポート希望団体を募集

3団体を選定し
5回の訪問支援をします
(10月以降、5か月程度を予定)

応募要領・選定方法は、別途、研修内でご案内します

支援例1 研修で描いた事業を支える組織管理が課題

- ・事業計画と組織図の見直し
- ・内部運営体制のチェック
- ・予算管理の方法、事業の進捗管理、決議の仕方を整備

支援例2 事業に必要となる外部との協力関係が課題

- ・関係者の洗い出し
- ・役割の現在、望ましい姿の整理
- ・関係者へのヒアリングと、役割のデザイン検討

支援ニーズによって、派遣する専門家は異なりますが、中小企業診断士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、まちづくりコンサルタント等を想定しています。支援団体に了解の上、市民活動センターのスタッフも同行させていただくこともあります。